

F-26 「ドイツ家政学」(^{エコトロフロジー}Ökotrophologie) の成立とその意味するもの
富山大教育 中川 暁

目的 エコトロフロジーの紹介

方法 昭和51年度文部省在外研究員として西ドイツ ミュンヘン工科大学農学部エコトロフロジー課程に留学した。指導教授 G・ヴルトブルト博士らの講義、実習およびゼミナールに参加、又同教授との度々の対話ならびに文献による。

結果 E.v. コルツフライシュによつて州立女子経済専門学校の設定が要望された1890年頃から、1960年頃まではエコトロフロジー成立の前史とみなされる。1920年頃ベルリンならびにボンの農科大学に家政科教員養成所の上級課程と家政学研究所が設置され、教育学者 H・ケルシュンシュタイナーの学作学校論の影響のもとに、経済学を基盤とする家政学が研究教育された。ドイツの家政学の基盤も経済学であったことは先駆者達の文献により知ることができるが、E・エグナーの「家政における経済学のすべに」は代表的なものである。更にテュービンゲン大学の O・F・ボルラー教授の哲学的・人文学的立場からの論及は手近な新しい資料である。1958年以降家政科教員の養成は各州の新教員養成法によつて大学レベルに引きあげられ、栄養学の研究が加えられるようになった。1962年から1972年にかけて、新構想のもとに、ギーゼン、ボン、グライハンシュテファン、ホーエンハイム、キールの諸大学にエコトロフロジー課程が次々に設置され、1973年には他の課程と同じ資格、Lernfreiheit が認められた。経済学を基盤とした女子のための教育としての伝統をもつドイツの家政学は、今や学問としてすなわち普遍妥当的なものとしてここ十余年の間に発展定着し、現在では一割近くの男子学生がエコトロフロジー課程で研究を行っている。